【報道関係各位】　　2014年8月4日

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、創造性と未来を拓くデザイン、そして子どもを産み育てやすいデザインの顕彰制度

第8回キッズデザイン賞
最優秀賞「内閣総理大臣賞」、優秀賞など36点を本日発表！

☆「Amazon.co.jp」内の「キッズデザイン賞ストア」も本日プレオープン☆

　キッズデザイン協議会＜内閣府認証NPO、会長：和田勇（積水ハウス株式会社代表取締役会長兼CEO）＞は、様々な産業の製品や施設、コミュニケーション・調査研究活動を対象に、子どもの安全・安心と健やかな成長発達に役立つデザインを顕彰する制度「キッズデザイン賞」を２００７年から実施しております。
　第８回目を迎える本年は、３月３日より応募受付を開始、書類による第一次審査、現物審査となる第二次審査を経て、去る７月４日、過去最高の応募となった４０８点の中から「第８回キッズデザイン賞」受賞作品２７２点を決定。厳正なる最終審査の結果、最優秀賞を含む３６点を決定し、本日発表いたします。

最優秀賞	**内閣総理大臣賞**	**1点**
優秀賞	**経済産業大臣賞**	**4点**
	少子化対策担当大臣賞	**2点**
	消費者担当大臣賞	**1点**
奨励賞	**キッズデザイン協議会会長賞**	**14点**
奨励賞(復興支援デザイン部門)		
	キッズデザイン協議会会長賞	**5点**
特別賞	**審査委員長特別賞**	**8点**
	TEPIA特別賞	**1点**

■「第8回キッズデザイン賞」受賞作品展示■

8月下旬より全国で受賞作品展示を予定しています。詳細は協議会サイト(http://www.kidsdesign.jp)で順次ご案内します。

■「Amazon.co.jp」内の「キッズデザイン賞ストア」本日よりプレオープン！■

● 8月4日(月)～ 第8回受賞作品の掲載開始　● 10月1日(水)～ 第1～7回受賞作品を含め全面オープン予定

キッズデザイン賞の受賞作品をお求めの消費者の声に応え、総合オンラインストア「Amazon.co.jp」ベビー＆マタニティストア内に「キッズデザイン賞ストア」が開設されました。
受賞作すべてではなく限られた商品での展開にはなりますが、Amazon.co.jpの取り組みにより
キッズデザイン賞受賞作がより社会に浸透することを、キッズデザイン協議会として期待しています。

【 Amazon.co.jpキッズデザイン賞ストア　http://www.amazon.co.jp/kidsdesign　】
「キッズデザイン賞WEBサイト」（http://www.kidsdesignaward.jp）で8月４日（月）15時よりリリースをご覧いただけます。
※　Amazon.co.jpは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

＊次項より、「第８回キッズデザイン賞」最優秀賞はじめ３６点を紹介しております。

【報道関係者様からのお問合せ先】
「第８回キッズデザイン賞」広報事務局（ﾌﾛﾝﾃｨｱｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ内）濱田・森・千葉
Tel：03-5778-4844 / Fax：03-5778-6516　※当日の連絡先：濱田（070-2197-8924）
【企業様からのお問合せ先】
「第８回キッズデザイン賞」応募事務局 Tel：03-3549-1108 / Fax：03-3549－1505（平日10:00－17:00）
主催：特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会　Tel：03-5405-2141 / Fax：03-5405－2143

「第8回キッズデザイン賞」 最優秀賞はじめ36作品一覧　- 1/2

<デザインミッション> 部門（応募数、第8回キッズデザイン賞 各賞受賞数） 受賞作品			
受賞賞		品目名	応募者　応募団体名
<全受賞作品の中から最も優れた作品　（応募数：408点　キッズデザイン賞受賞272点）>			
★最優秀賞	内閣総理大臣賞	車酔いさせない！スムーズな運転の習得をサポートする「i-DM（インテリジェント・ドライブ・マスター）」	マツダ株式会社
★最優秀賞	内閣総理大臣賞	子どもによるエンジン誤始動を防ぐ アドバンスト キーレスエントリーシステム！	マツダ株式会社
★最優秀賞	内閣総理大臣賞	子ども歩行者発見！ 巻き込み事故リスクを減らすサイドモニター！	マツダ株式会社
★最優秀賞	内閣総理大臣賞	子ども歩行者発見！ Aピラーとドアミラー配置で前方視界拡大！	マツダ株式会社
<子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン>			
子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン　子ども部門 **応募数：58点、第8回キッズデザイン賞受賞：40点　優秀賞 1点　奨励賞 2点　特別賞1点**			
優秀賞	経済産業大臣賞	子どもの生きる力を育むまち 子育て世帯応援タウン～ニッケガーデンコート花水木～	積水ハウス株式会社
★奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	BODY　ZERO　KIDS　シリーズ	西川リビング株式会社
★奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	はじめよう眠育	西川リビング株式会社
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	お米のねんど	銀鳥産業株式会社
特別賞	審査委員長特別賞	SWANS　ジュニア用花粉グラス「SWKJ-01」	山本光学株式会社
子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン　一般部門 **応募数：67点、第8回キッズデザイン賞受賞：56点　優秀賞 1点　奨励賞 2点　特別賞1点**			
優秀賞	経済産業大臣賞	宅配ボックス	日本宅配システム株式會社
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	六本木ヒルズにおけるサポートクルー活動	森ビル株式会社
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	チャイルドセーフティータッセル・房掛	立川ブラインド工業株式会社
特別賞	審査委員長特別賞	建物内部設置型防災器具「木質耐震シェルター」	株式会社一条工務店
<子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン>			
子どもの未来デザイン　感性・創造性部門 **応募数：88点、第8回キッズデザイン賞受賞：41点　優秀賞 1点　奨励賞 2点　特別賞1点**			
優秀賞	経済産業大臣賞	三菱みなとみらい技術館 トライアルスクエア（スペース・プロジェクト）	三菱重工業株式会社 グループ戦略推進室　広報部 三菱みなとみらい技術館／株式会社丹青社
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	かなや幼稚園	学校法人志向学園かなや幼稚園／株式会社石嶋設計室／ 小松豪一級建築士事務所／株式会社KAP／ 株式会社テーテンス事務所／ぼんぼり光環境計画株式会社／ 高橋ランドスケープ／labolatory株式会社／株式会社コト葉LAB.／藤城光
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	学校法人島田中央学園みどり認定こども園	学校法人島田中央学園／株式会社時設計／ 株式会社ジェーエスディー／株式会社チェイルド本社
特別賞	審査委員長特別賞	子どもたちが創造する屋外メディア公園「コロガルパビリオン」	山口情報芸術センター[YCAM]
子どもの未来デザイン　学び・理解力部門 **応募数：45点、第8回キッズデザイン賞受賞：27点　優秀賞 1点　奨励賞 2点　特別賞2点**			
優秀賞	経済産業大臣賞	ほんとのおおきさシリーズ	株式会社　学研教育出版
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	文教用デジタルビデオカメラ HC-BKK1 ぼうけんくん	パナソニック株式会社
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	まちカードばとる！！	明石工業高等専門学校建築学科水島研究室
特別賞	審査委員長特別賞	Kakuno(カクノ)	株式会社 パイロットコーポレーション
特別賞	TEPIA特別賞	ワールドアイ	株式会社学研ステイフル

★は、4点で「MAZDA TECHNOLOGY FOR KIDS」として、「最優秀賞　内閣総理大臣賞」を受賞

★は、2点で「眠育プロジェクト」として、「奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞」を受賞

		品目名	応募者　応募団体名
優秀賞	少子化対策担当大臣賞	チャイルドシート「ネルーム」シリーズ	コンビ株式会社
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	シリコーンおかゆ調理器　お釜ジャー	株式会社赤ちゃん本舗
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	ベビ★マ－授乳室・おむつ替え検索地図アプリ	

全8部門の中で最も優れた作品

最優秀賞　内閣総理大臣賞

■作品名　　MAZDA TECHNOLOGY FOR KIDS　　※4作品（P4～6）まとめての受賞

■企業・団体名　　マツダ株式会社

＜車酔いさせない！スムーズな運転の習得をサポートする「i-DM（インテリジェント・ドライブ・マスター）」＞

《開発の考え方》

スムーズで快適な運転操作を導く、運転スキル向上支援システムです。

平衡機能が発達段階にある3歳以降の子供は乗り物酔いしやすい傾向があります。

急激な加速度変化による内耳刺激や不快感を排除した乗り物酔いしない快適な移動空間の実現を願い、

走りを楽しんで頂きつつ運転操作を上達に導くシステムを目指しました。

《仕様》

メーター内／センターのディスプレイ表示で運転スキル向上をガイドします。

リアルタイムに運転操作を判定／表示するコーチング機能と、運転終了時にスコア／アドバイスを表示する

ティーチング機能を備えています。

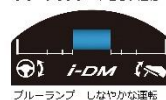
グリーンランプ　やさしい運転

ブルーランプ　しなやかな運転

スコア表示例

ホワイトゲージ　体が揺れる運転

i-DM
常にこの運転ができるように挑戦し続けましょう

アドバイス表示例

最優秀賞　内閣総理大臣賞

＜子どもによるエンジン誤始動を防ぐ アドバンスト キーレスエントリーシステム！＞

《開発の考え方》

一般的なキーレスエントリーシステムは、車内にキーがあれば誰でもエンジン始動出来ます。この場合、荷物の積み下ろしをしている最中に、キーがエンジン始動可能エリアにあると、誤って子供がエンジン始動操作を行ってしまう可能性があります。そこで、こうしたシーンでは、エンジン始動できないよう設計しました。

《仕様》

・通常時（リヤゲートが閉まっている時）は、荷室にキーがある場合もエンジン始動は可能です。

・荷物の積み下ろしをしている時（リヤゲートが開いている時）、荷室にキーがある場合には、エンジン始動できません。

＜子ども歩行者発見！巻き込み事故リスクを減らすサイドモニター！＞

《開発の考え方》

一般の乗用車に比べCX-5のような車高が高い車は、
左前方エリアの安全が少し確認し難いです。
このエリアをディスプレイに映し出し、より安全に走行できるように工夫しました。特に、小さな子供は、
車の死角に入り運転手から隠れてしまうこともあります。
こうしたリスクを減らすことを狙い開発しています。

《仕様》

・インナーミラー内のディスプレイに
サイドモニター映像を表示します。

・①停車時、
②20km/h以下の低速走行時
③後退時に表示することが出来ます。

全8部門の中で最も優れた作品

最優秀賞　内閣総理大臣賞

＜子ども歩行者発見！Aピラーとドアミラー配置で前方視界拡大！＞

《開発の考え方》

親の付き添いなく歩き回る最少年齢の子供として、5才児の体格を基準にしました。その子供が巻き込まれやすい左折時に、確実に子供を視認できることを目指して開発しています。確実な視認とは、頭部がしっかり見えることと定め、それら条件を満足するよう車両構造をデザインし、より安全に走行できる工夫をしています。

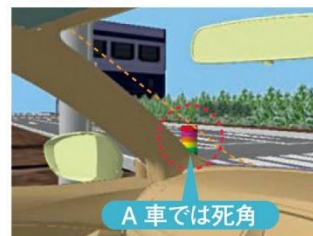
《仕様》

5才児を対象とし、下記仕様にて設計

ーピラーの前後位置は、横断歩道上に立っていることが確認できる

ーミラーとピラー隙間視界は、対象の進行方向がわかるように胴体の幅が見える

ーミラー上部は、頭部が見える

交差点左折時

ドアミラー取り付け位置の比較

《審査評》

子どもの身体特性や心理特性に基づいた安全性向上に資する技術、機能の提案を高く評価し、4点の応募を合わせての最優秀賞とした。走行時の安全性に留まらない幅広い自動車安全に子ども目線を明確に取り込んだ開発姿勢に共感する。

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 子ども部門

子ども(0～15歳)を直接の対象とする製品、施設、サービスにおいて、安全に配慮されたもの。

優秀賞　経済産業大臣賞

■作品名　子どもの生きる力を育むまち　子育て世帯応援タウン
～ニッケガーデンコート花水木～

■企業・団体名　積水ハウス株式会社

《開発の考え方》

「積水ハウスのキッズでざいん」の思想のもと、こどもが安全に生活できる賃貸住宅で構成された90世帯のまちです。住人同士のコミュニティを促す仕掛けや、周辺住民への敷地の開放、中庭で遊ぶ子どもたちを見守る配棟計画、最新の建物性能等、母親の育児ストレスを軽減させるアイテムが随所に盛り込まれています。

《仕様》

・所在地:愛知県一宮市　・敷地面積:10,693.44㎡　・規模:11棟90戸

HP:http://www.nikke-hanamizuki.com/

《審査評》

子ども目線の安全設計や子育て支援仕様を賃貸住宅において標準化し、お金のかかる子育て層に向けた住まい提案の先進モデルとして評価した。実際の住まい手には情報交換や互いの預け合いなど子育てコミュニティとしての多様な効果も盛り込まれており、今後の展開の可能性を感じる。

子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 子ども部門

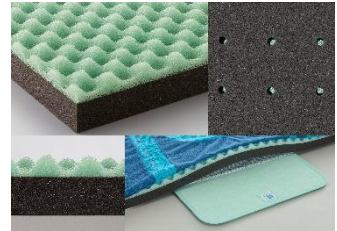
子ども（０～１５歳）を直接の対象とする製品、施設、サービスにおいて、安全に配慮されたもの。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　眠育プロジェクト　※２作品まとめての受賞
■企業・団体名　西川リビング株式会社

＜BODY ZERO KIDS シリーズ＞

《開発の考え方》
共働きの増加、塾通いなどで子どもたちの睡眠時間は年々減少傾向です。学童期は睡眠が成長に大きく影響します。子どもの睡眠の特徴である発汗量が多く、寝返り回数が多い事に注目し「質の良い睡眠」を提案することで健やかな子どもの成長をサポートする「BODY　ZERO　KIDS」シリーズ。

《仕様》
子どもの睡眠の特徴である多い発汗量、多い寝返り回数に注目し、一番汗をかく背中から腰に掛けて除湿シートを内臓。側生は通気性の良いメッシュ素材を使用。肌にあたる部分はデリケートな肌にも安心な特殊構造で編み上げた綿素材。
http://www.nishikawa-living.co.jp/

＜はじめよう眠育＞

《開発の考え方》
眠育とは、成長ホルモンが分泌され脳が一番育つ「入眠から3時間を深い眠り」にする質の良い眠りを提唱し、子どもの成長を応援する活動。イベント開催、教育現場での眠育の重要性を告知し、同時に産学協同による必要データの収集を行い、商品開発に反映し商品提案との両輪で睡眠環境改善を提唱します。

《仕様》
「眠育プロジェクト」は、広く親御さんを含めた子どもたちに「睡眠の重要性」をアピール。◎告知活動：イベント開催◎睡眠教育活動、睡眠実態の研究：①教材「みんなのすいみん（小学生）」
②ミニ講座“わたしたちの「睡眠」”

《審査評》
子ども期の睡眠と成長の関係は切り離せないが、海外と比較しても日本の子どもは睡眠時間が短く不規則との調査結果もある。学校教育の現場でも睡眠教育が進められており、眠育というジャンルを社会に広めていく活動と具体的な製品開発は子どもの健全な発育発達に貢献する取り組みとして高く評価できる。

子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 子ども部門

子ども（０～１５歳）を直接の対象とする製品、施設、サービスにおいて、安全に配慮されたもの。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　お米のねんど
■企業・団体名　銀鳥産業株式会社

《開発の考え方》
近年、増加している子どもの小麦アレルギーを背景に、小麦粘土や油粘土にかわる、みんなで楽しく安全に遊べる粘土として開発しました。また、混色が可能なカラフルな色合いや、もちもちとした感触など、子どもたちの自由な発想や創造力を育む粘土を目指しました。

《仕様》
米粉・水・塩分を主成分とした子どもが安心して遊べる粘土です。米粉からつくられているため、アレルギーの心配も少なく安心してお使いいただけます。油粘土のような匂いもなく、カラフルできれいな色が特徴です。

《審査評》
小麦アレルギーを持つ子どもでも安全に遊べる配慮を施した米を原料とした粘土。発色がよく感触も滑らかで、子どもがさまざまな造形に挑戦したくなるような素材であり、思わず熱中しそうな良品である。

特別賞　審査委員長特別賞

■作品名　SWANS ジュニア用花粉グラス「SWKJ-01」
■企業・団体名　山本光学株式会社

《開発の考え方》
子供の花粉症発症率が年々増加傾向にある中で、お子様のアレルギー対策製品として開発しました。ソフトな材質で取り外しが可能な「花粉アイガードカバー」や、掛け心地に着目した「調整可能な耳かけ（モダン）」など、安全性と機能性を追求しました。また、度付きレンズを入れると普段掛けの眼鏡としても使用できます。

《仕様》
製品サイズ：　天地34mm×幅128mm×長さ155mm
重量：　27g
レンズカーブ：　4カーブ（度付きレンズ対応可能）
フレームカラー：　クリアブルー、クリアレッド、クリアピンク、クリアスモーク、クリア

《審査評》
子どもが使用するサイズの花粉侵入防止グラスはカバー部分が硬いと転倒した場合など顔面を傷つける可能性があるため、柔らかな樹脂製素材にして安全性を高めている。PM2.5対策など社会的ニーズの高まるジャンルでこうした配慮を施した点は重要である。

子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 一般部門

子どもを含めた一般向けの製品、施設、サービスにおいて、子どもが接触する可能性があるもので、安全に配慮されたもの。

優秀賞　経済産業大臣賞

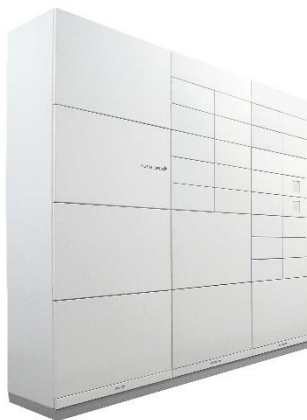
■作品名　宅配ボックス

■企業・団体名　日本宅配システム株式會社

《開発の考え方》

留守中に荷物を預かる宅配ボックスは近年急速に普及しています。一方、金属製で堅牢な宅配ボックスで発生する事故は人命に関わるため、無防備な子どもたちの目線で安全を追求する必要があります。日本宅配システム社の宅配ボックスは、すべての生活者が安全に利用することのできる“日用品”として開発されています。

《仕様》

標準で人センサーを全製品に装備(中サイズ以上のボックス対象)。内部で人の動きを察知して電気錠のロックを自動的にリリースします。電気錠が作動しない停電時のために、機械式の内部解錠レバーも備えています。

《審査評》

共働き世帯などの利便性から近年、急速に普及している集合住宅の宅配ボックスは、一方で現代社会の死角ともなりかねず、子どもの閉じ込め事故の事例が報告されている。事故防止の観点に立った、センサーによるボックス内感知機能、内側からの解錠機能、いざという時の通気などきめ細かな安全設計が施されており、本分野における先駆的なモデルであることを高く評価した。

子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 一般部門

子どもを含めた一般向けの製品、施設、サービスにおいて、子どもが接触する可能性があるもので、安全に配慮されたもの。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　**六本木ヒルズにおけるサポートクルー活動**
■企業・団体名　**森ビル株式会社**

《開発の考え方》
「安全安心」を街づくりのミッションに掲げる当社では2004年より繁忙期の週末に年間約1000名の社員が、安全で安心して過ごしていただくためのヒューマンセンサーとして街頭に立ち、街の安全を守っています。「お子様からお年寄りまで誰にとっても安全で楽しい場であること」を目指し、この活動を継続しております。

《仕様》
【主な活動内容】
・来街者サポート　・施設安全重点確認
・高齢者疑似体験訓練　・AED 設置位置確認
・エスカレーター「みんなで手すりにつかまろう」キャンペーン
・ヒヤリハット巡回

《審査評》
子どもの事故防止のために1000人の社員がヒューマンセンサーになるというコミュニケーションのあり方の視点が素晴らしい。事故防止の重要性を社会にも社員にも浸透させ、具体的な行動で発信している、徹底した取り組み方に共感する。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　**チャイルドセーフティータッセル・房掛**
■企業・団体名　**立川ブラインド工業株式会社**

《開発の考え方》
カーテンの近くで小さなお子様が遊んだりしていると、お子様の首や体にタッセルが巻き付くなどして思わぬ事故につながる事があります。
小さなお子様がいらっしゃるご家庭や施設でも安全に、安心して製品をご使用して頂く為に、一定の力が掛かるとタッセルが外れるチャイルドセーフティー「タッセル・房掛」を開発しました。

《仕様》
現状の房掛をそのままお使い頂いても、タッセルに一定の力が掛かると先端マグネット部が外れます。房掛は両面シールで窓枠や壁に穴を空けずに取付けが出来るタイプもあり窓枠に後付けが工具を使わず簡単に出来ます。

《審査評》
ブラインドひもの子どもの首つり事故への安全対策が進んでいるが、カーテンひもの対策にも一石を投じた提案で、子どもの事故防止に対する意識啓発、具体的な対策の点で社会的意義が高い。既存の製品へ後付け可能であることも広がりを期待させるものだ。

子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 一般部門

子どもを含めた一般向けの製品、施設、サービスにおいて、子どもが接触する可能性があるもので、安全に配慮されたもの。

特別賞　審査委員長特別賞

■作品名　**建物内部設置型防災器具「木質耐震シェルター」**
■企業・団体名　**株式会社一条工務店**

《開発の考え方》
南海トラフ巨大地震の発生が懸念される中、耐震補強を必要とする
木造住宅が多く存在しているが、その一方で、多額の改修費用が
ネックとなり、思うように改修工事が進まない現実がある。
そこで、万が一地震により家屋全体が倒壊しても、「安心・安全」を
確保できる空間を設置しやすい価格でご提供するため、本商品を開発した。

《仕様》
Aタイプ：外寸（間口×奥行×高さ）：2492mm×2390mm×2310mm
　　　　内寸（間口×奥行×高さ）： 2230mm×2128mm×2027mm
　　　　本体重量：1050kg（約1t）
Bタイプ：外寸（間口×奥行×高さ）：2492mm×2390mm×2110mm
　　　　内寸（間口×奥行×高さ）： 2230mm×2128mm×1827mm
　　　　本体重量：1050kg（約1t）

《審査評》
耐震改修が難しい場合に有効なシェルターであり、子どもを避難させるリスクを考慮した提案。こうした構造を持った空間を子ども部屋に活用すれば安全性が向上すると考えられる。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

子どもの未来デザイン　感性・創造性部門

子どもの創造性、感性、五感を育み、自らが進んで創造的な行為に取り組むことを促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

優秀賞　経済産業大臣賞

■作品名　三菱みなとみらい技術館トライアルスクエア（スペース・プロジェクト）

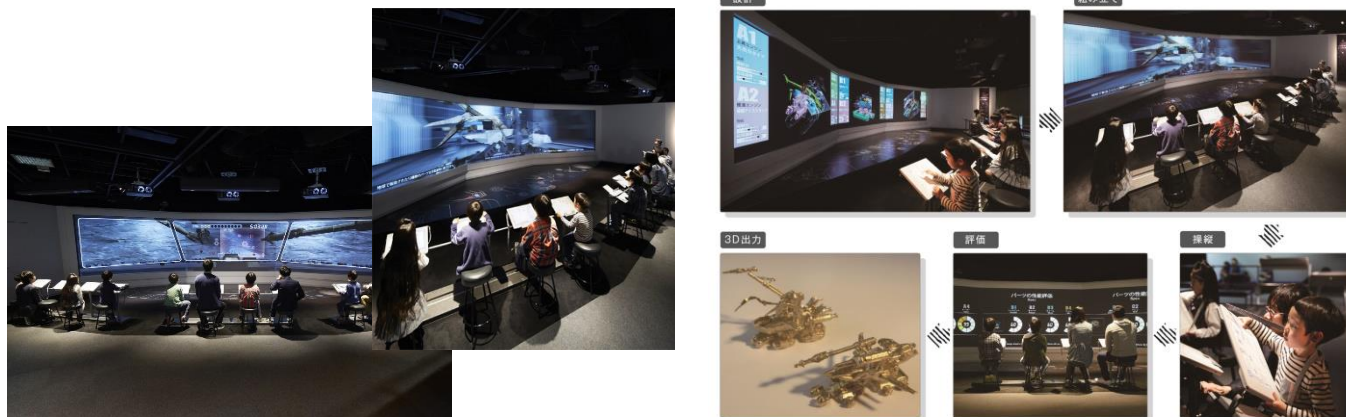
■企業・団体名　三菱重工業株式会社　グループ戦略推進室 広報部　三菱みなとみらい技術館／株式会社丹青社

《開発の考え方》

12人の体験者が、協力したり、一人ひとりでこだわりながら、近未来の月面資源採掘船の開発にチャレンジする体験プログラム。体験を通し、三菱重工業が実際の現場で行っているものづくりのプロセスを学ぶ。操作はオリジナル開発をした入力端末を使用する。設計したマシンは体験後3Dプリンターで出力され子供達の元に届く。

《仕様》

■体験人数 ： 同時に最大12名まで体験可能。（小さなお子さんの場合は保護者の方の付添も可能。）

■体験時間 ： 約30分

《審査評》

最大12人が共同で月面資源採掘船の設計、開発に携わるというデザイン体験プロジェクトであり、子どもの感性を育てるにふさわしい本物感を備えている点を高く評価した。重工業関連の設計というブラックボックスになりがちな分野に着目していることも重要で、こうした分野の優れた先行例となっている。

子どもの未来デザイン　感性・創造性部門

子どもの創造性、感性、五感を育み、自らが進んで創造的な行為に取り組むことを促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　かなや幼稚園
■企業・団体名　学校法人志向学園かなや幼稚園／株式会社石嶋設計室／小松豪一級建築士事務所／株式会社KAP／株式会社テーテンス事務所／ぼんぼり光環境計画株式会社／高橋ランドスケープ／labolatory株式会社／株式会社コト葉LAB.／藤城光

《開発の考え方》
「汗をかける幼稚園」をつくることが目標でした。そのため園舎の中央には膜屋根越しに柔らかな陽光が燦々と降り注ぐ室内遊戯場を設けました。そこは子どもたちが安心して汗をかける開放的な半屋外空間です。これにより福島第一原発事故の影響で減少している子どもたちの屋外活動を補完して余りある園舎が実現しました。

《仕様》
敷地面積：1,642.65㎡
建築面積：661.74㎡
延床面積：763.99㎡（1F：586.44㎡、2F：176.64㎡）
定員：70人（2014.04現在）
構造：木造、一部鉄骨造

《審査評》
外遊びが限られている福島県いわき市に立地するこの幼稚園は、外光が降り注ぐ半屋外の大空間が特徴的で子供が存分に遊べる配慮を随所に施している。空間を囲む回廊や室内ではあまり見かけない遊具の設置など、ここが屋内であることを忘れさせるほどの開放感の演出が見事である。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　学校法人島田中央学園みどり認定こども園
■企業・団体名　学校法人島田中央学園／株式会社時設計／株式会社ジェーエスディー／株式会社チェイルド本社

《開発の考え方》
2種類のホール空間や個性溢れるスモールスペースなど
多彩で魅力的な交流空間の創造に取り組みました。
その中心となるのが園のシンボル空間「オーバルホール」です。
こども達や保育士の創意工夫によって新しい遊びや体験が生まれ、
多彩な活用方法が期待されるこの自由空間は、『ボクらのアリーナ』です。

《仕様》
用途：認定こども園
構造規模：鉄筋コンクリート造2階建
延床面積：1,735.10㎡　建築面積：1,111.04㎡
最高高さ：8.59m　定員：幼稚園児143名,保育園児17名

《審査評》
楕円型のホールは遊戯室と一体で使うことも可能で、子どもが伸び伸びと自由に遊びまわれる開放的な空間となっている。外光を十分に感じ、あたかも屋外にいるかのような心地良さ、保育者の子どもに対する視認性の高さも評価できる点である。

子どもの未来デザイン　感性・創造性部門

子どもの創造性、感性、五感を育み、自らが進んで創造的な行為に取り組むことを促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

特別賞　審査委員長特別賞

■作品名　子どもたちが創造する屋外メディア公園「コロガルパビリオン」
■企業・団体名　山口情報芸術センター［YCAM］

《開発の考え方》

『メディアアートセンターから提案する、新しい学び場環境』をテーマに、子供の学びの根源を掘り起こすことを目指した。身体感覚とメディアをシームレスに行き来できるしつらえを施したこの公園では、子どもたちのアイデアがYCAM技術スタッフによって改変・実装され、遊び場環境を自身のアイデアで作り変えていく。

《仕様》

YCAMの広大な芝生の上に制作した、太陽・大地・空気・映像・音などの要素が重なり合う二つの円形の庭。
いつでもそこに存在している様々な環境と呼応しながら、子供達はあらゆるシグナルを全身で感じながら遊ぶ。

《審査評》

メディア+身体性の基本をきちんと押さえた空間とメディアワークショップの複合的な提案で、極めて洗練されたプログラム内容と必要十分な空間の活かし方が心地よさを与えている。

子どもの未来デザイン　学び・理解力部門

子どもが地域社会、歴史、伝統工芸などをはじめ、様々な知識の取得や、運動力の向上、スポーツへの参画を促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

優秀賞　経済産業大臣賞

■作品名　　ほんとのおおきさシリーズ

■企業・団体名　　株式会社学研教育出版

《開発の考え方》

動物の「ほんとのおおきさ」を、子どもたちによく分かってもらえるように、実物大写真の背景はすべて白地にしました。さらに、本当に目の前に動物がいるような驚きと楽しさを味わってもらえるよう、動物写真は高解像度カメラで全て撮り下ろし、毛の1本1本まで繊細な切り抜き処理を行いました。

《仕様》

シリーズ既刊8巻／各巻サイズ天地370ミリ×左右263ミリ、オールカラー、40〜48ページ

《審査評》

実物大という、絵本の概念を覆す大胆かつ独創的な発想が素晴らしい。写真のクオリティにもこだわっており、動物であれば毛並みなどの質感までも感じられるリアルさが想像力をかきたててくれる。

子どもの未来デザイン　学び・理解力部門

子どもが地域社会、歴史、伝統工芸などをはじめ、様々な知識の取得や、運動力の向上、スポーツへの参画を促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　文教用デジタルビデオカメラ HC-BKK1 ぼうけんくん
■企業・団体名　パナソニック株式会社

《開発の考え方》
授業の効率化と児童の学習への好奇心向上を両立させた、文教用ワイヤレスビデオカメラ。ポータビリティの高い本体と、教壇付近のTVへのワイヤレス画像転送機能により、先生の立ち位置を限定しない授業を可能に。親しみのある虫眼鏡型デザインに、直感的キーレイアウトとピクトグラムで、子供にも使い易いものを目指した。

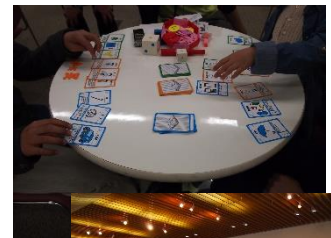
《仕様》
●見やすい3.5型タッチパネル式ワイド液晶モニタ搭載
●生活防水(IPX4相当)対応
●ライブ伝送機能搭載により撮影中の映像や録画映像を教室のテレビやプロジェクターへWi-Fi接続で伝送し映す事が可能

《審査評》
ユニークで興味を引くビジュアルで、ネーミングが示す通り学習の現場での活用に加え、自分の作品や野外の動植物の観察日記など幅広い知育コミュニケーションツールとして役立ちそうな製品である。多様な活用方法の提案を教育現場から集めても面白い。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　まちカードばとる！！
■企業・団体名　明石工業高等専門学校建築学科水島研究室

《開発の考え方》
“まちカードばとる！！”は、小・中学生対象の住環境学習ツールです。こどもたちは3種類の絵が描かれたカードを組み合わせて、まちに潜む問題点を発見していきます。こどもたちが楽しみながら、自然に課題発見能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力などが身に付くことを期待して開発しました。

《仕様》
カード（計63枚：人物カード・アイテムカード・シーンカード・何でもカード）、説明書、説明DVD/ポーカーサイズ

《審査評》
子どもの事故の特徴である「人」×「モノ」×「環境」の関係性をゲーム形式で学び、想像力を働かせる良質なプログラム。子どもの事故要因を考えるうえで社会で共有すべき重要な視点が盛り込まれており、街づくりや空間開発にも活かせる発想ツールである。

子どもの未来デザイン　学び・理解力部門

子どもの創造性、感性、五感を育み、自らが進んで創造的な行為に取り組むことを促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

特別賞　審査委員長特別賞

■作品名　Kakuno（カクノ）
■企業・団体名　株式会社パイロットコーポレーション

《開発の考え方》
弊社は創業以来95年に渡り万年筆作りに携わってきており、万年筆に触れたことのないジュニア世代から大人まで、日常の中で気負わず使える低価格でベーシックな万年筆を発売し、広い世代への万年筆の普及を狙いました。シンプルな構造ながら万年筆の使い方や書き味を手軽に実感できるような商品を目指し実現できました。

《仕様》
小学生をメインターゲットとした使いやすさと書き味を手軽に実感できる樹脂製ボディの低価格万年筆です。ペン先はステンレス製で、しなりにより筆跡が綺麗に書けます。

《審査評》
ペン先には大人向けのものをそのまま採用しており、万年筆としての書き味は本格的である。デジタル時代であるからこそ、文字を書くという行為を誘発するような子ども向け万年筆の提案は意義がある。

TEPIA特別賞

■作品名　ワールドアイ
■企業・団体名　株式会社学研ステイフル

《開発の考え方》
地球が浮いているように見える新しさ、美しさの表現を課題にし、クリアーに投影できるよう開発を重ねました。付属の52コンテンツ以外にも、外部機器と接続することで、自由に好きな映像を投影できるようにし、何を映したらおもしろいかなど、創意工夫できる楽しみをもたせました。幅広い使い方を探れます。

《仕様》
サイズ：H364mm×W258mm×D258mm/重量：940g/
セット内容：本体、スタンド、リモコン、USBメモリ、ACアダプター、
取扱説明書/接続端子：イヤホンジャック、USB端子、HDMI入力端子

《審査評》
球体のディスプレイで美しく立体的に見えるよう機構や材料を工夫し、地球や宇宙、水中生物など多様なコンテンツで子どもの感性や創造性を育む。自分で撮った映像やPCやスマートホンからの出力も可能で、科学や技術の学びに活かせるコンテンツへの展開も期待できることからTEPIA特別賞にふさわしいものと評価した。

子どもの産み育て支援デザイン　個人・家庭部門

**主に子育ての当事者である親・個人(妊婦含む)が使用、利用し、
安全かつ楽しく育児に取り組める工夫や心理的な負担・不安を軽減する工夫がなされたもの。**

優秀賞　少子化対策担当大臣賞

■作品名　チャイルドシート「ネルーム」シリーズ

■企業・団体名　コンビ株式会社

《開発の考え方》

従来のチャイルドシートは、新生児でも背中が少し起き上がった姿勢となり、少なからず保護者の不安があった。
しかし、今回は弊社の「万が一の事故の際、衝撃を背中で受け、分散させる」という安全哲学を踏襲しながら、
赤ちゃんの快適性向上と保護者の不安感を軽減すべく、可能な限り赤ちゃんを寝かせられる形状を目指した。

《仕様》

新生児～4歳を対象とした“一歩進んだベッド型”チャイルドシート。万が一の事故の際に、
衝撃を背中で受けられる角度で、赤ちゃんの快適性に配慮して可能な限りシートを寝かせた形状を実現。

《審査評》

軽量化や子どもの成長に合わせた可動式ヘッドレスト、衝撃吸収構造など、細部にわたり安全設計を施しており、
乳幼児連れの自動車での外出に貢献する点を評価した。増加傾向にある軽自動車にも対応しつつ、こうした子育て視点に立ってデザインされた製品へのニーズは今後ますます高まることが予想される。

子どもの産み育て支援デザイン　個人・家庭部門

**主に子育ての当事者である親・個人(妊婦含む)が使用、利用し、
安全かつ楽しく育児に取り組める工夫や心理的な負担・不安を軽減する工夫がなされたもの。**

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　シリコーンおかゆ調理器　お釜ジャー
■企業・団体名　株式会社赤ちゃん本舗

《開発の考え方》
これまでの炊飯ジャー用のおかゆ調理器は、ガラス製、ステンレス製が多く使用されており、ガラス製は「割れる」、ステンレス製は「錆びる」、等の声がありました。より安心して使用して頂くため、「シリコーン樹脂製」を考案。おいしいごはんのイメージを感じてもらえるようにお釜をモチーフにデザインを作成しました。

《仕様》
ご飯を炊く時、炊飯器に一緒に入れるだけでおかゆが作れるシリコーン製のおかゆ調理器。冷凍保存や電子レンジ使用、食器洗浄機使用に対応。調理後すぐに水にさらしておくこともでき、お米のこびりつきを軽減できるのでお手入れが簡単。

《審査評》
離乳食などの少量のおかゆを炊飯時に一緒につくれる機能は、毎日のことであるがゆえに利便性が高くニーズが見込まれる。メンテナンスしやすいシリコン製である点、ミトンやスプーンなども備え子育て支援の気配りが感じられる点も良い。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　ベビ★マ – 授乳室・おむつ替え検索地図アプリ
■企業・団体名　インターリンク株式会社

《開発の考え方》
ベビ★マは世代を重ねながら進化し続ける『助け合い』アプリです。赤ちゃんを持つ親なら誰もが直面する「困った」状況を解消することを目指し、親同士が情報をシェアすることで、みんなが安心してお出かけできる環境を作り上げます。登録された施設情報は次の世代へと引き継がれ、蓄積することで進化し続けるのが最大の特長です。

《仕様》
会員登録など煩雑な手続きが一切必要無く、赤ちゃんを抱っこしながらでも片手ですぐ使えるように、極限までシンプルな設計にしました。サクサク動作とシンプル操作でママ・パパの困った！に応えます。

《審査評》
授乳室とおむつ替えスペースの2つのみに絞り、最寄の場所を検索できるシンプルで機能的なインターフェイスに好感が持てる。時間に追われがちな子育て層にとって、必要な情報に瞬時にたどり着けることが何よりも優先される。リアルな現場の声に応えたデザインの好例である。

子どもの産み育て支援デザイン　個人・家庭部門

**主に子育ての当事者である親・個人(妊婦含む)が使用、利用し、
安全かつ楽しく育児に取り組める工夫や心理的な負担・不安を軽減する工夫がなされたもの。**

特別賞　審査委員長特別賞

■作品名　20年分のバースデーカード
■企業・団体名　株式会社 千趣会

《開発の考え方》
「親子をつなぐコミュニケーションツール」をテーマに、“親から子へ愛情を伝える行為”をデザインしたメモリアルグッズ。毎年誕生日にメッセージと写真を残し、将来子供に贈ることで、親子の絆を深めることができる。子育てに悩んだ時に親の励みになり、成長した子供にも大きな力を与えてくれることを願って開発した。

《仕様》
家族の宝物として長く残すことを考え、箱には桐材を、カードには退色しにくい素材を、性別・時代を問わないデザインを採用。様々なメモリアルアイテムがセットされていて、ボックスにひとまとめにして収納できる。

《審査評》
写真とメッセージを20年分という時間とともにしまっておき、二十歳にプレゼントするキット。細部にわたるデザインのクオリティ、さりげなく飾られた記念すべき年齢のカードなどこだわりが感じられる。

子どもの産み育て支援デザイン　地域・社会部門

保育園、学校、自治体、地域などの施設で使用され、複数の子どもや親を対象とした、安全かつ楽しい妊娠出産や子育てを支援する工夫がなされたもの。

優秀賞　少子化対策担当大臣賞

■企業・団体名　　**中央区立京橋こども園**

■作品名　　**清水建設株式会社**

《開発の考え方》
都会のオアシスとして地域に貢献する
保育所・幼稚園の機能と共に、子育て
支援事業を行う認定こども園。
都市再生特区の指定を受けた清水建設
新本社の公共貢献施設として建設され、
待機児童解消と災害時支援機能を担う。
大規模な壁面緑化により、子どもたちが緑を
感じられる環境と、潤いと安らぎのある街並みを提供している。

《仕様》
緑で包む／色と形で包む
緑の壁に囲まれたガラス箱の建物構成とし、室内はおもちゃ箱の
ようなカラフルな家具やガラススクリーンで緩やかに仕切り、
子どもスケールの小さな空間など様々な楽しい仕掛けを散りばめた 。

《審査評》
建設会社による、ビジネス街における認定こども園と一時預かり保育の子育て支援事業の良質なモデルの提案である。2階には防災センター機能も持ち、都市の狭小空間にガラスを多用した印象的な外観と緑化を施すなど、地域に開かれた施設づくりに成功している。

子どもの産み育て支援デザイン　地域・社会部門

保育園、学校、自治体、地域などの施設で使用され、複数の子どもや親を対象とした、安全かつ楽しい妊娠出産や子育てを支援する工夫がなされたもの。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　たのしい森保育園
■企業・団体名　社会福祉法人 森友会／戸室太一建築設計室

《開発の考え方》
地域の待機児童対策の一環として計画された認可保育園である。
敷地の周囲に大変豊かな緑地帯をもつため、園舎とこれらの緑を
いかに近づけるかが計画のテーマであった。敷地面積が限られていたため、
立体的になる園舎と共に立体的に構成される緑化を考えた。緑化を付加的な
ものとせず、建物のデザインと一体となった緑化のあり方を試みた。

《仕様》
敷地面積：522.00㎡
延床面積：519.45㎡
鉄骨構造3階建
耐火建築物

《審査評》
1階から3階まで緑化が視覚的に連鎖し、一体化された緑の景観を生み出しており、周囲の自然にもうまく溶け込むことに成功している。園庭を十分に確保することが難しい都市の狭小な土地にも応用できる優れたアイデアである。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　「産院が街をつくる」ファミール産院 君津
■企業・団体名　医療法人社団マザー・キー　ファミール産院　君津／　株式会社ドムスデザイン

《開発の考え方》
待合をメインストリートとし、その先に広場を設け、
快適な待ち時間を過ごせるようにしました。
病院らしさを排除して、人が集まる環境をつくる
ことを大切にしました。キッズコーナーも設け、
開院時珪藻土の塗り壁に近隣の子供たちの手形をつけました。
この手形は永遠に残り、ずっと産院を見守り続けます。

《仕様》
鉄骨造
敷地面積：4811.56㎡
建築面積：651.35㎡
述床面積：1268.46㎡

《審査評》
出産施設のなかった同市に産院を開設し、里帰り出産や子育てコミュニティを提案する、地域の少子化対策の模範ともいえる取り組みである。地元に産む場所がないという問題は深刻化しており産み育てに資する地域モデルの先進例としてエールを送りたい。

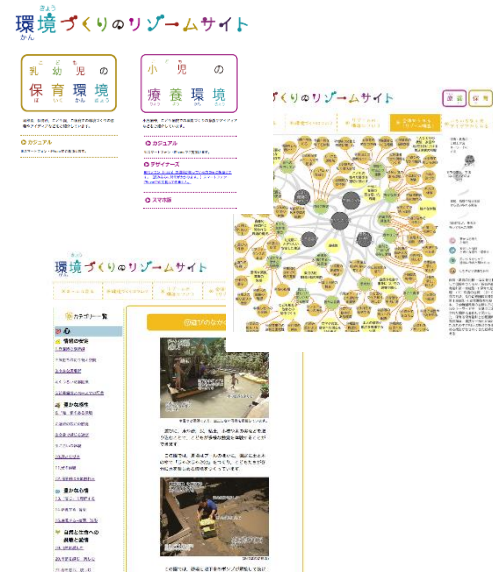
子どもの産み育て支援デザイン　地域・社会部門

保育園、学校、自治体、地域などの施設で使用され、複数の子どもや親を対象とした、安全かつ楽しい妊娠出産や子育てを支援する工夫がなされたもの。

特別賞　審査委員長特別賞

■作品名　環境づくりのリゾームサイト
■企業・団体名　東京電機大学　未来科学部　建築学科　山田あすか研究室

《開発の考え方》
このサイトでは、こどもの保育のための環境と、療養環境を中心に、環境づくりのための様々な工夫やアイディアをわかりやすく紹介しています。
環境づくりについて知りたい方、環境づくりをしたい方、その価値を誰かに伝えたい方、環境づくりのアイディアが欲しい方、などに役立てていただければ幸いです。

《仕様》
「環境づくりの理念・目的（なんのために？）」から「具体的な建築や環境のあり方のアイディアや工夫（どうやって？）」までをお互いに関係するネットワーク、リゾーム構造としてまとめ、紹介しています。

《審査評》
子どもの保育環境や療養環境の構成要素をリゾーム（地下茎）構造で解析した意欲的な試みで、研究内容も細かく精緻化されており、子どものための空間をデザインする際に役立つ知見である。

未来を担う消費者デザイン部門

小中学生（６～１５歳）を対象とし、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取り組み、社会環境づくりなどで、新たな発想、工夫、手法があるもの。

優秀賞　消費者担当大臣賞

■作品名　子どもの生きる力をはぐくむ「弁当の日」応援プロジェクト

■企業・団体名　「弁当の日」応援プロジェクト
（事務局：㈱共同通信社、参加：積水ハウス㈱、キッコーマン㈱、クリナップ㈱、
住友生命保険相互会社、全国農業協同組合連合会、東京ガス㈱、
ハウス食品グループ本社㈱、はごろもフーズ㈱）

《開発の考え方》

弁当づくりを通じて子どもは感謝の心、生きる力を身に付け、大人は見守る大切さ、子の成長、子育ての楽しさを感じていく。

一般的な「食育」ではなく、命の大切さを親子で考えさせる点でユニークな取り組みとなっている。

「弁当の日」はPTAや地域団体等により全国に広がってきたが、企業の協働により更なる拡大に繋がっている。

《審査評》

13年前に香川県の小学校から始まり、現在では全国1400校で実施されている「弁当の日」は、子どもが食品を自ら選び、調理し、後片付けをすることで、「生産・消費・廃棄」のサイクルを自立的に体験でき、健全な消費者育成につながるものと考える。弁当というテーマを通じて多様な気づきを促す意義深いプログラムであり、企業が自社リソースを提供しながらその拡大浸透へ貢献している点を高く評価した。

未来を担う消費者デザイン部門

小中学生（６～１５歳）を対象とし、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取り組み、社会環境づくりなどで、新たな発想、工夫、手法があるもの。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　ちびっこ上棟式
■企業・団体名　株式会社　成匠

《開発の考え方》
本物の木の家の構造を縮小した材料を使い、子ども達が大工と一緒に棟上げ作業までを行う大工体験プログラム。実際の木に触れることで木の香りや温もりなどを感じながら作業をし、「在来木造軸組み工法の仕組み」また「大工」という職業を身近に感じてもらうことで将来の大工育成に繋げていきたいと考えています。

《仕様》
縦：約2メートル、横：約1メートル、高さ：約1.3メートルの木の家を土台から柱・梁・桁・棟木・垂木までを施工し、棟上げ作業までをチームに分かれて行います。

《審査評》
木に触れ合うワークショップに留まることなく、ミニチュアの木造の家を実際に建て上棟式までを体験する本格的なプログラムで、現役の大工がてほどきする職業体験学習の側面からも、木や家の成り立ちの学びの面からも良質な取り組みである。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　ユニバーサルカヌー体験会
■企業・団体名　公益社団法人かながわデザイン機構

《開発の考え方》
誰でも安心して楽しめるユニバーサルカヌーを開発し、プール等の既存施設を活用して障がい児と健常児が一緒に遊べる環境の実現を目指して来ました。H19年以来、約28,000人（障害児は延べ800人）が体験しましたが、子どもの新しい遊び環境として、アウトドアリハビリ環境として大きな可能性があることが確認出来ました。

《仕様》
・標準艇の仕様：幅×長さ×高さ＝700mm×2,300mm×320mm
・材料/成型法：ポリエチレン/回転成型
・特長：座位固定椅子、パドルアシスト装置等を装着することで、身体および知的障がい児も安全で楽しい乗艇体験が可能。

《審査評》
カヌーという非日常の体験を通じて、障害者と健常者の貴重なコミュニケーションの機会を創出する意義ある取り組みである。安全性と操作性を考慮したカヌーのデザインはもちろん、人と環境の関係、多様な人と人の関係を構築するユニバーサルコミュニケーションをデザインしている。

キッズデザインの3つのデザインミッションのいずれかに基づくデザイン

未来を担う消費者デザイン部門

小中学生（6～15歳）を対象とし、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取り組み、社会環境づくりなどで、新たな発想、工夫、手法があるもの。

特別賞　審査委員長特別賞

■作品名　　エコカラットプラスデザインパッケージ　ファブリックプラン　MixModern　3㎡タイプ
■企業・団体名　株式会社 LIXIL

《開発の考え方》
多孔質セラミックスであるエコカラットプラスとファブリックを
組み合わせたアクセントウォール商品として開発しました。
子ども部屋のインテリアに豊かな表情を生み出すだけではなく、
ゼロエネルギーでニオイやシックハウス症候群の原因ともなる
ホルムアルデヒドなどの有害物質を低減し、安心な空気環境作りを実現します。

《仕様》
エコカラットプラスとファブリックをパッケージ化した内装壁材です。
使用しているエコカラットプラスは珪藻土よりも微細な
孔を豊富に持っており、自然の力で快適な空気環境を実現します。

《審査評》
調湿性や有害物質吸着機能のあるタイル素材と色彩豊かなファブリックの組み合わせで、子ども部屋のデザインにも合いそうな製品である。空気環境の安全と幅広い用途に対応できるものとして、可能性を感じる。

特別賞　審査委員長特別賞

■作品名　　電池がどれでもライト
■企業・団体名　パナソニック株式会社

《開発の考え方》
単1形から単4形までの電池がどれでも使えるLED懐中電灯。非常時は、
身近にある電池1本で点灯できるので、枕元に置いておけば、万一電池
切れの際も、目覚まし時計などの電池で点けられる。スイッチを探さなくても
回すだけで点けられ、コンパクトながら持ちやすい大型ハンドルがついている
ので、子供でも扱いやすい。

《仕様》
電源：単1形～単4形いずれか1本
本体サイズ：高さ125×幅135×奥行80mm
本体質量：約230g乾電池EVOLTA単3形1本含む
防滴性：防滴形（IPX1相当）

《審査評》
単1から単4までどのサイズの電池でも1本から使えるLEDライト。子ども部屋にあるゲームやおもちゃの電池でも灯りを得られ、操作性もわかりやすく、サイズも小型で子どもにも使いやすい。

復興支援デザイン部門

東日本大震災の被災地へ向けた復興支援の取り組み・活動で、子ども視点のあるもの。
被災地の子どもたちが安心して笑顔のある暮らしを一日でも早く取り戻すことに寄与する取り組み。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　『震災で得た教訓を生かした、こどもと女性にやさしい「おりひめトイレ」』
■企業・団体名　積水ハウス株式会社

《開発の考え方》
災害時において旧来の「仮設トイレ」への不満・不安が、
こどもや女性にとって「使いにくい」ものとし、「使わない」
という行動を引き起こすことで、水分摂取を控えたり、トイレ
利用を我慢させ、結果として膀胱炎などの健康被害の誘引も
危惧されました。これらの問題を解決するため、震災で得た教訓を
生かし、こどもと女性にやさしいトイレを仙台市とともに開発し、
被災地から全国に発信したいと考え事業を実施しました。

《仕様》
寸法：幅2,113mm、奥行き1,476mm、高さ2,652mm
※最大寸法を表記しています。
面積1.85㎡

《審査評》
子育て支援の視点からリ・デザインした仮設トイレの提案で、子連れでの外出時の不安や不満の解消に貢献する。
災害時やイベント時におけるスタンダードな空間として社会に浸透することを期待したい。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　サントリー＆日本工芸会「おもしろびじゅつ教室 in 東北」
■企業・団体名　サントリーホールディングス株式会社

《開発の考え方》
日本工芸会と連携し、重要無形文化財保持者（人間国宝）をはじめ
一流の伝統工芸作家による被災地の小学校等での出張授業を通じて、
ものづくりや伝統工芸、日本美術のおもしろさを伝え、子どもたちの
心の癒しと活力に貢献させて頂くことを目指した。
「サントリー東北サンさんプロジェクト」の美術による復興支援活動第1弾。

《仕様》
漆芸の出張授業ではサントリー美術館所蔵の国宝
「浮線綾螺鈿蒔絵手箱」をモチーフに蒔絵の技法「地蒔き」を体験。
陶芸では作家による制作工程の実演に続き、転写紙を使い磁器の
フリーカップにデザインに挑戦した。

《審査評》
漆芸や陶芸の被災地への出張授業で、人間国宝を始めとする一流伝統工芸作家が手ほどきする本格的なプログラム
である。子どもに伝統工芸の素晴らしさや日本文化の奥深さを伝え、自らも作家となる体験を提供することで、この国の
文化や歴史、技の伝承につながっていくだろう。

復興支援デザイン部門

東日本大震災の被災地へ向けた復興支援の取り組み・活動で、子ども視点のあるもの。
被災地の子どもたちが安心して笑顔のある暮らしを一日でも早く取り戻すことに寄与する取り組み。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　久之浜防災緑地について考えよう
■企業・団体名　いわき市立久之浜第一小学校＋久之浜大久地区まちづくりサポートチーム

《開発の考え方》
福島県いわき市久之浜で進んでいる津波に対する防災緑地計画に関して、子どもたちが自主的に提案し、実際の防災緑地デザインに影響を与える目的でワークショップを行なった。小学校5､6年生が特別授業枠を利用してアイデアを出し合っている。ワークショップ内で生まれたアイデアは実際にまちづくり会議で発表された。

《仕様》
形式: ワークショップ
実施日：　平成25年6/7,6/14, 6/21, 6/28, 7/5, 7/12, 7/13　計7回（発表含む）
参加者：　5､6年生（計56名）

《審査評》
同地域の防災緑地計画に子ども自らが提案を行ない街づくりに参画する試みで、この地で育った子どもならではの思いが込められた優れた提案が見て取れる。街を守る視点に留まらず、地域活性化やその良さの再認識に対する具体的な提案が行なわれている点も素晴らしい。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　絵本バスプロジェクト＆Picture Book café
■企業・団体名　一般社団法人地球の楽好/NPO法人地球の楽好/（株）AKIND

《開発の考え方》
長年の子育て支援活動から絵本の感性を育むことに活用することはとても有効で、また誰もが年齢や地域の関係なく思い出の絵本の中で、繋がることができることを理解していた。被災地を近く感じ、無理なく永くご支援をいただき、子どもたちも自分で選ぶことや自分のことを表現できるきっかけとなる事業として視点をおいた。

《仕様》
絵本バスプロジェクトは子どもたちが自分の好きなものを、一点選びそれをその子にプレゼントするという事業である。手に取る子どもたちのことを想いながらを絵本を送ってくれる方々とをつなぐ役目もある。

《審査評》
全国から寄付された絵本を通じて支援者と被災地の子どもをつなぐ活動で絵本をプレゼントするという独自性、延べ800回という継続性も素晴らしい。ワークショップやカフェ展開など参加できる仕組みも併設している点も評価に値する。

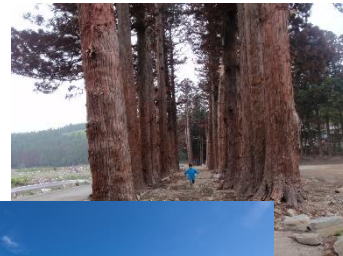
復興支援デザイン部門

東日本大震災の被災地へ向けた復興支援の取り組み・活動で、子ども視点のあるもの。
被災地の子どもたちが安心して笑顔のある暮らしを一日でも早く取り戻すことに寄与する取り組み。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　　あさひ幼稚園
■企業・団体名　株式会社手塚建築研究所

《開発の考え方》
大津波で塩枯した大雄寺の参道の樹齢350～450年の
巨木 を使って再建した幼稚園。幼稚園は高台にあって、
次の 大津波が来るであろう400年程先の子供達への
「津波が来 たらここにきなさい」というメッセージとなっている 。
夏は暑く冬は寒い南三陸にあって、貴重な全天候型の
遊び場となっている。

《仕様》
敷地面積：1,819.69㎡
建築面積：359.48㎡
延床面積：287.64㎡
階数　　：地上1階
構造　　：木造

《審査評》
震災の津波で立ち枯れした杉を活用して建てられた幼稚園で、数百年の歴史を留め次の数百年まで津波の記憶を
伝えるという思いのもとに設計された。生木を建築資材としてそのまま使うのは困難であるにも関わらずさまざまな
工夫で木を使い尽くし、さらに仮設から常設への変更までも視野に入れた徹底ぶりに感動する。

★9月中旬には第1回から第8回のキッズデザイン賞受賞作品が検索可能なサイトがオープンします。
キーワード検索や分野別、キッズデザインのミッション別など様々な条件検索ができるサイトです。
ぜひご高覧くださいますようお願い申し上げます。

＜応募企業様からのお問い合わせ先＞

キッズデザイン協議会　事務局

Tel：03-5405-2141(平日 10：00～17：00) / Fax：03-5405-2143 / E-mail：info@kidsdesign.jp

＊受賞作品の画像素材のご要望等につきましては、下記、広報事務局までお問合せ下さい。＊

＜本資料に関する報道関係の方からのお問い合わせ先＞

『第8回キッズデザイン賞』広報事務局（フロンティアインターナショナル内）

担当：濱田・森・千葉

Tel：03-5778-4844／ Fax：03-5778-6516／E-mail：frontier-pr@frontier-i.co.jp